

勉強会のお知らせ

番町の住環境・教育環境を守るために

日時●平成30年 **6月16日** **土** 16時～18時

会場●麴町出張所 洋室 AB (麴町2丁目8 TEL03-3263-3831)

番町地域にお住まいの皆様、通勤・通学されている皆様、現在、番町に最大150メートルもの超高層ビルの建設を可能にする計画があることをご存知でしょうか？

番町地域は、江戸時代から続く住民たちの優れた見識と価値観によって培われてきた由緒ある町です。また、都心にありながらも落ち着いた佇まいの閑静な住宅地であり、番町小学校を始めとする複数の学校を擁する文教地区でもあります。

ところが、千代田区は現在「日本テレビ通り沿道まちづくり協議会」を設置し、現在の高さ規制を緩和して150メートルもの超高層ビル建設を可能にする作業を急ピッチで進めています。また、日本テレビからこの協議会に提出された計画案にも建物を高層化すると明記されております。

私たちは、再開発により番町地域の魅力が増し、これまでの良いものは残しつつ更に発展していくことを望んでいます。しかし、この地域の発展に高さ150メートルのランドマークタワーは本当に必要でしょうか。このようなランドマークタワーによってもたらされる賑わいは、番町地区の住民の皆さんだけでなく、通勤・通学する方が求めているものでしょうか。

つきましては、番町地域に相応しい再開発のあり方を一緒に考える機会として下記のとおり勉強会を開催することと致しました。皆様お誘い合わせのうえ、是非ご参加ください。

5月25日千代田区議会
企画総務委員会に提出された資料より

●第一部●

進行中の日テレ通り計画の推移・内容の説明

●第二部●

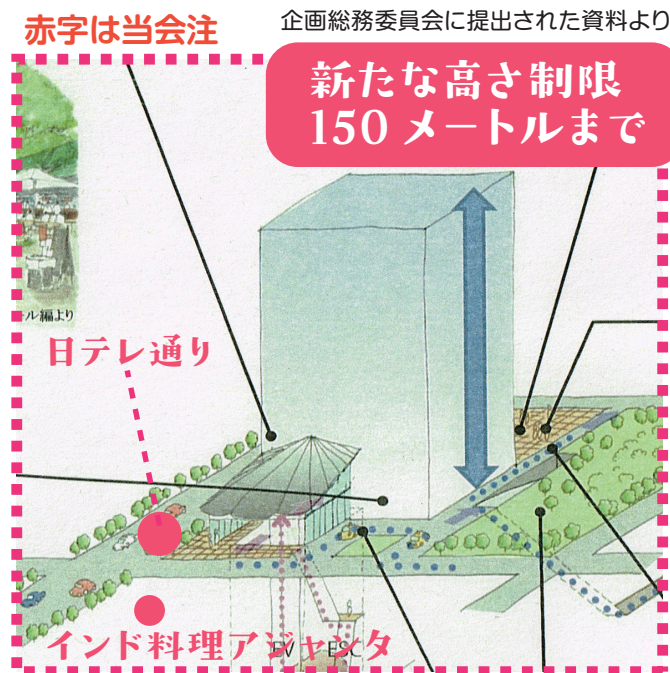
地域の魅力を活かしたまちづくり

お話：福川裕一先生

千葉大学名誉教授・NPO 法人全国町並み保存連盟理事長

●定員：80名(会場の都合により)

※参加ご希望の方は、直接会場にお越しください



主催：番町の町並みを守る会

発起人：横山エミ(四番町)、木村マリ子(六番町)、大橋智子(女子学院卒業) 事務局：橋本
問い合わせ先：bancho.kankyo@gmail.com

※お送りいただきましたメールは、「番町の町並みを守る会」の活動に関するご連絡以外の目的では使用しません。

望ましい麹町駅前拠点整備のイメージ

街に開かれた大規模な広場やバリアフリー化など、地域課題を解決する地域貢献施設を誘導するために、Aゾーンへ配慮しながら建物を高層化する。

- ①日テレ通りに面して緑豊かな歩行空間を確保し、快適で歩きやすい通りとする。
- ②歩行者空間に沿ってカフェ等を誘導し、日テレ通りを中心に賑わいを創出する。

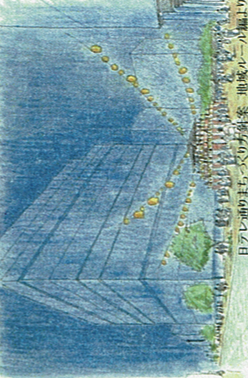


新たな高さ制限
最大150mまで

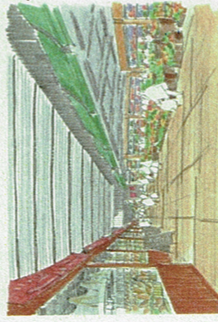
- ③地域が交流できる広場に地下鉄出入口を設置し、地下鉄と地上を連結させる
また、雨に濡れない歩行者ネットワークを形成する



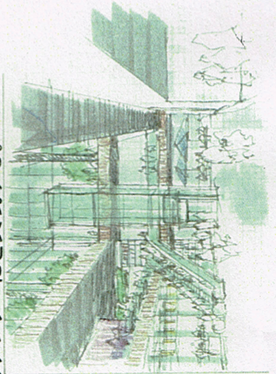
- ④盆踊りなどの地域イベントが安全に開催できる規模の地域交流広場を設置



- ⑤生活利便施設等を誘導し、地域の生活拠点とする

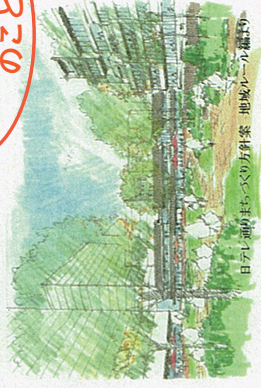


- ⑥駅前拠点として、地下鉄駅前の滞留空間と地上をつなぐ空間などを整備し、駅のバリアフリー化を実現する。



- ⑨Aゾーンに交通負荷をかけない
車両動線を整備する

- ⑧住宅地との間に大規模な緑地帯などのバッファゾーンを設けて、Aゾーンとの調和を図るとともに、住宅地としての付加価値を高める空間を整備する



- ⑦風ぐるまなどが寄り付ける交通広場を設け、駅前の利便性を高める



Aゾーンとは
住宅複合地区
のこと